

ICGN ジャパン・フォーラム

日本取引所グループ(JPX)、東京証券取引所(TSE)共催

コーポレートガバナンス・コードの実践: 人的資本・自然資本の戦略的運用における優先課題

日付: 2022年7月14日(木)

時間: 16:00 - 18:30(日本時間)

コーポレートガバナンス・コードは昨年、企業にサステナビリティ、特に社会および環境に関する事項を考慮することの重要性に関する言及を強化し更新されました。コードは特に中長期の価値創造において国連のSDGsとFSBの気候変動開示タスクフォース(TCFD)に言及しています。企業はどこまで実施し、開示すれば良いのでしょうか。

議題

16:00 - 16:05 ケリー・ワリング ICGN 最高経営責任者 挨拶

16:05 - 16:10 小沼泰之東京証券取引所取締役、専務執行役員 挨拶

16:10 - 16:20 基調メッセージ 金融庁企画市場局 井藤英樹局長

16:20 - 17:20 社会における優先課題: 企業の最も貴重な資産を高める

コーポレートガバナンス・コードは、取締役会に人的資源に関する戦略、特に従業員の多様性、人権と公平な処遇について明確化するよう奨励しています。またコードは、人的資本マネジメントに関する適切な施策を開示するよう要請しています。どのように人的資本マネジメントと企業戦略を関連付ければ良いのでしょうか。グローバルな投資家はどのような開示を評価するのでしょうか。これは企業の価値創造にどのような影響を与えるのでしょうか。

- ジェナ・ジェコバ、モロー・ソダリ・オーストラリア、コーポレートガバナンス部門ディレクター
- 柳良平、エーザイ株式会社専務執行役 CFO、早稲田大学大学院客員教授
- 内ヶ崎茂、HR ガバナンス・リーダーズ株式会社代表取締役社長 CEO
- ケイト・ジャルバート、バンガード(英国)、投資スチュワードシップ・ディレクター、EMEA, APAC 地域担当



モデレーター: 小平龍四郎、日本経済新聞論説委員

17:20 - 18:20 環境における優先課題: 言葉から行動へ

コーポレートガバナンス・コードは、明示的にプライム市場上場企業に対して、その事業と収益性に関し気候変動に関連するリスクと事業機会についての影響を考慮することを求めています。また企業は TCFD に準拠した開示が期待されています。企業はどのようにシナリオ分析に取り組めば良いのでしょうか。温室効果ガス、スコープ 1, 2, 3に関連して何が重要(マテリアル)なのでしょうか? 投資家の集团的対話は変化を加速するのでしょうか?

- 安藤聡、オムロン株式会社取締役
- セベリン・ネールポルト、ノルジェス・バンク・インベストメント・マネジメント(ノルウェー)、シニア・アナリスト
- 井口譲二、ニッセイアセットマネジメント株式会社チーフ・コーポレートガバナンス・オフィサー
- YK・パク、APG アセットマネジメント(香港)、APAC 地域責任投資ガバナンス部門長

モデレーター: ジョン・ブレンダー、フィナンシャル・タイムズ、
シニア・エディトリアル・コラムニスト

18:20 - 18:30 閉会の辞